学 会 録 事

会 員 移 動

(昭和44年8月1日より昭和44年11月30日まで)

新 入 会 (9名)

住 所 変 更 (12名)

退　　会（1名）

津　幡　文　隆

本　学　会　懇　談　会

日本水産学会年会を機に昭和44年4月3日午後6時から，東京家政大学において開催された。会は山岸高旺氏の司会により時田郇前会長のあいさつではじまったが，その中で前会長は，選挙の結果会長の役を広瀬弘幸氏にひきつぐむねの発言をされた。続いて選挙を取扱った斎藤譲氏により，新評議員の顔ぶれの発表がなされた。その後，広瀬弘幸新会長の，皆さんの応援が得られるならばおひきうけしたいとのあいさつがあった。更に山田幸男名誉会長のあいさつののち，三輪知雄氏の音頭でビールの乾杯をして会食に移った。会食中，土屋靖彦氏による国際海藻シンポジウム準備のその後の進展状況の報告と協力要請や，今秋の本学会総会の会場校の加崎英男氏の御案内の弁等もあった。恒例の北と南の今年の代表は，北は中村義輝氏，南は最近四国に移られた大野正夫氏で，それぞれお話をいただいた。後，学研の生物の系統と分類のスライドから，特に藻類の部分を重点に観覧し，担当した栗山　究，堤地富両氏の有意義な苦心談やこぼれ話をきいて，8時半閉会した。ここに会の開催に際して御甚力いただいた東京家政大学の高野，草間両氏にお礼を申上げる。

出　席　者（41名）

秋山和夫，荒木　繁，新崎盛敏，市村輝亘，今田　修，岩崎英雄，大房　剛，大野正夫，加崎英男，喜田和四郎，小林　弘，斎藤俊一，斎藤　譲，桜井武磨，須藤俊造，高野克夫，千原光雄，土屋靖彦，時田　郇，中村義輝，西沢一俊，広瀬弘幸，福島　博，富士川竜郎，藤原輝子，藤山虎也，堀　輝三，正置富太郎，丸山　晃，宮田益忠，三輪知雄，山岸高旺，山田幸男，吉田忠生，佐藤重勝，近江彦栄，黒木宗尚，池森雅彦，山内幸児（特別参会）非会員　栗山　究，堤地　富。

本　学　会　記　事

昭和44年9月28日より10月1日まで，日本植物学会第34回大会が開催されたが，それに先立って，9月27日に本学会の昭和44年度大会として講演，評議員会，総会，懇親会が横浜市中区神奈川県労働福祉センター，中華街萬珍楼に於て次の如く盛大に開催された。

講 演 会 記 事

第17回本学会総会に先立って，講演会が午前9時半より12時まで，及び午後2時より3時まで神奈川県労働福祉センター地階ホールに於て開催された。なお本学会独自の講演会が開かれたのは岡山大学臨海実験所に於ける第11回総会以来2度目である。講演会のプログラムは次の通り。（敬称略）

館脇正和（北大・海藻研）：緑藻とくにヒトエグサ属の変異性　**小林艶子・福島 博***（横浜市大・文理）：羽状ケイ藻の変異性　**秋山和夫**（東北水産研）：褐藻コンブ科とくにワカメ属の変異性　**熊野 茂**（神戸大・理）：淡水産紅藻とくにカワモズク属の変異性　**斎藤 譲**（北大・水産）：海産紅藻とくにソゾ属の変異性　**広瀬弘幸**（神戸大・理）：第11回国際植物学会議に参加して

評 議 員 会 記 事

総会提出議題審議のため，昭和44年9月27日正午から2時間，神奈川県労働福祉センター地階会議室で開催された。

出 席 者　評議員：秋山和夫，千原光雄，今堀宏三，正置富太郎，尾形英二，谷口森俊，山岸高旺.　会長：広瀬弘幸.　幹事：坪 由宏，荻原 修，高橋永治，熊野 茂，榎本幸人

以上の他に名誉会長山田幸男，前会長時田郇及び前幹事斎藤譲の3氏の出席があり参考意見の開陳があった。欠席評議員のうち加崎英男，藤山虎也の2氏は会長に委任し次の事項について協議承認された。

1. 昭和43年度庶務・会計報告
2. 昭和44年度庶務・会計中間報告
3. 昭和44年度予算案
4. 会則改正案
5. 投稿規定改正案

第 17 回 総 会 記 事

本学会第17回総会は，昭和44年9月27日午後3時より4時半まで，横浜市中区神奈川県労働福祉センター地階ホールで開催された。会は福島氏の開会の辞に始まり，広瀬会長の挨拶があって次の順序で議事が進められた。

Ⅰ. 議長選出：渡辺 篤氏が選出された。

Ⅱ. 報告事項

1. 庶務報告：昭和43年度庶務報告及び同44年度中間報告が熊野幹事よりなされ承認された。
2. 会計報告：昭和43年度決算報告が高橋幹事よりなされ承認された。

○ 昭和44年度予算案

収入の部		支出の部	
会費	236,800円	印刷費	400,000
バック（上半期×2）	100,000	発送費	20,000
前年度からの繰越金	334,454	通信費	20,000
		消耗品費	25,000
		幹事手当	31,500
		運送費	15,000
		予備費	159,754
計	671,254	計	671,254

Ⅲ. 協議決定事項

1. 昭和44年度予算案が同年度中間報告と共に高橋幹事より説明され，原案通り次のように決定した。

2. 会則の一部改正について：会費値上げに伴って現行第8条，付則第5条及び第6条を次のとおり改正することに決定した。（太字の部分）

第8条　会員は毎年会費**800**円を前納するものとする。中略。外国会員の会費は**3米ドル**とする。

（付則）

第5条　会員が，バックナンバーを求めるときは各巻**800**円，分冊の場合は各号**270**円とし，非会員の予約購読料は各号**400**円とする。

第6条　本会則は**昭和44年4月1日**より施行する。

3. 投稿規定の一部改正について：現行4.を次のように改正，現行5.は全部削除，4.に続いて次の5.全文を新しく加えることに決定した。

投稿規定

4. …………総合抄録は**平仮名混り，横書き**400字詰…………（太字の部分を付加)。

5. 文献引用形式は次の通り，文献はおわりに一括し，引用順に番号をつけ，本文中の引用個所に[1,2]のように肩書きすること。形式は次の例にならうこと。

例 1）IYENGAR, M. O. P. (1940) On the formation of gametes in *Caulerpa*. Jour. Ind. Bot. Soc., **18** : 191－194.

2）FRITSCH, F. E. (1965) Structure and reproduction of the algae. **I** Cambridge Univ. Press, London.

3）HUTNER, S. H. and PROVASOLI, L. (1951) The phytoflagellates. In *Biochemistry and Physiology of Protozoa* (A. LWOFF, ed.). Acad. Press, New York : 27－128.

4. 本誌英文略字決定について：
雑誌藻類の英文略字として **Bull. Jap. Soc. Phycol.** を採用することに決定した。

5. そ の 他：
会員福島氏より (1)評議員の3選もいいではないか。 (2)藻類のサイズを大きくしては。 (3)いわゆる岡山方式で藻類学会大会を開くことの可否について。(4)賛助会員制度を設けて財政を豊かに。 (5)会計報告は予算決算を対照できる方式に。など提案がなされ(1)〜(4)は宿題に，(5)は早速実行に移すことに決定した。

Ⅳ. 第7回国際海藻研究集会日本開催について
この件について正置氏より説明があり，山田名誉会長からは藻類学会との関係などについての説明があった。

懇　親　会

総会終了後午後5時より，異国情緒たっぷりの中華街萬珍楼大広間に於て盛大な懇親会が熊野幹事の司会で開かれた。広瀬会長の挨拶の後，地元世話人の福島氏より中華料理店のハシゴなど懇切丁寧な賞味法の説明，歓迎の挨拶があり，続いて夢多き少年時代を横浜の汐風を吸って育たれた前会長時田郇氏の音頭で乾杯，なごやかに会が始まった。山田名誉会長のスピーチを皮切りに全員の自己紹介が時には爆笑のうちに行われ，ミナト・ヨコハマの夜を楽しんだ。会の終り近く，山田名誉会長から，何処も大学紛争その他で非常な困難のうちに仕事を続けていることと思うが，悪条件にめげず寸暇を見付けて仕事に励んでほしい，と心のこもった激励の言葉があり午後8時会を閉じた。

本会開催のために多大の御尽力を賜わった横浜市立大学福島博氏，小林艶子氏，生物学教室の方々の御努力に心から感謝致します。また多額の寄付を賜わった地元諸団体に対して厚く御礼を申し上げます。

出 席 者 (72名)

新崎盛敏，荒木　繁，秋山和夫，馬場順子，千原光雄，榎本幸人，福島　博，福島　聡，萩原　修，平本俊明，林田文郎，平野　実，平山国治，広瀬弘幸，堀　輝三，芳賀　卓，市村輝宜，猪野俊平，池森雅彦，今堀宏三，伊藤市郎，磯村康博，唐沢　栄，北見秀夫，小林艶子，近藤純三郎，熊野　茂，黒木宗尚，金子　孝，小林　弘，小出悟郎，丸山　晃，右田佐紀子，正置富太郎，宮田益忠，森　通保，中尾，西浜雄二，野田光蔵，中村義輝，尾形英二，小河久朗，大房　剛，大石一雄，大森長朗，大野正夫，岡崎彰夫，斎藤　譲，桜井武雄，沢田武男，瀬木紀男，斎藤俊一，瀬戸良三，田島進生，髙橋永治，髙橋　章，豊国秀夫，館脇正和，髙田昭典，多湖実輝，谷口森俊，寺本賢一郎，徳田　広，坪　由宏，津村孝平，渡辺　篤，綿貫知彦，山田家正，山田幸男，山田信夫，山岸高旺，造力武彦.

本会会員 Frederik Weld 氏は去る昭和44年7月死去されました。
謹しんで哀悼の意を表します。

日本藻類学会

藻類 17 巻 2 号 正 誤 表

		誤	正
3頁	Table 1	Kumano etal	Kumano et al
25頁	下から3行目	下関水産大学校	水産大学校
27頁	下から9行目	小論分	小論文